

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告及び展示物に関する規程ならびに本競技会注意事項により実施する。なお、本競技会は WRK指定競技会とする。ただし、5000m競歩、リレー種目、オープン種目はWRK対象競技会としない。

2. 練習会場等について

- (1) 別掲「練習場計画」に基づき練習することができる。なお、練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期すこと。なお、練習中に発生した疾病・傷害等の応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理すること。
- (4) 練習会場の入退場時は、必ず AD カードを明示すること。(選手受付で配付)
- (5) 各練習会場での練習の順番待ちは当該選手のみとし、それ以外は認めない。
- (6) メイン競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- (7) 投てき練習(メディシンボール等を含む)は、競技場の内外を問わず一切禁止とする。

3. 招集について

- (1) 招集所はバックスタンド外側に設ける。
- (2) 種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。
- (3) 招集の方法
 - ① 競技者は、招集所で競技役員の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・競技用靴・商標の点検を受けること。なお、代理人による点呼は認めない。
 - ② 多種目を同時に出場する競技者は、第1種目の招集完了時刻 30 分前までに所定の「多種目同時出場届」(V-TIC)を提出すること。また第1種目招集開始までに多種目出場種目のアスリートビブスと競技用靴の点検をうけること。種目間の移動は、マーシャルの案内に従うこと。
 - ③ 各種目を欠場する場合は、招集完了時刻 30 分前までに所定の「欠場届」(V-TIC)を提出すること。招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとする。
 - ④ 混成競技について
 - ・招集は、第1日目及び第2日目の最初の種目については、正規の招集手段で招集所にて行う。2種目目以降はトラック種目 25 分前、フィールド種目 40 分前に混成控室に集合すること。ただし、競技の進行によって集合時間が変更になる場合がある。なお、棄権しようとする競技者は直ちに混成競技係に申し出ること。
 - ・棒高跳の練習については、円盤投の競技終了後、棒高跳ピットを使用して練習を行うことができる。(女子棒高跳の競技が終了している場合) によって、棒高跳の招集については 40 分前に競技場所にて行う。
 - ⑤ TR6.3.2 により競技区域内に持ち込みが禁止されている携帯電話・電子機器・通信機能のある腕時計等を招集所に持ち込まないこと。もし、持ち込んでしまった場合は、必ず招集所の係員に預けること。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、主催者が2枚準備する。(選手受付で配付)
- (2) 着用については、TR5を厳守すること。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を招集時に配付する。

5. 競技場への入退場について

- (1) 競技場内への入退場は、すべて競技役員の指示・誘導による。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通り退場すること。

6. レーン順・試技順の抽選並びに番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の通りとする。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びレーン順は TR20.4.3~5 に従って番組編成員が行い、滋賀陸協 Web サイト内速報ページで公開する。
- (3) トラック競技における次ラウンド進出者を決める際に同成績があった場合は 0.001 秒単位で着差判定をして、それでも同じであれば、空きレーンがある場合は次ラウンドへ進出できる。空きレーンがない場合は抽選により進出者を決める。
- (4) 抽選が必要な場合は、当該競技者にアナウンスにより連絡し、大会本部において当該競技者あるいは代理人による抽選を行う。なお、アナウンス後 15 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部に来なかったときは、抽選の資格を失う。該当者が全員来なかった場合は、主催者が代行して抽選を行う。
- (5) 十種競技の最終種目において、それまでの成績による順位の上位選手から、内側レーンにシードする。

7. 競技及び競技方法について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定システムを使用する。
- ② 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。
- ③ 男女 1500m、男子 3000mSC については 2 組とし、資格記録上位者を 2 組とする。
- ④ 男女 5000m については、参加人数により混合レースとする。(TR9 に準ずる。) スタートはグループスタート(女子アウトレーン)とし、フィニッシュはアウトレーンゴールとする。

(2) リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」(TIC に用意)に記入のうえ、各ラウンドとも出場する該当組の招集完了時刻の 1 時間前までに TIC に提出すること。ただし、オーダー提出後の変更については、主催者の指定する医務員の許可がある場合のみ認める。その場合は、「リレーオーダー変更届」を TIC に提出すること。変更する箇所については、変更が認められた走順のみとする。「リレーオーダー変更届」は TIC に用意する。
- ② リレー競技において使用するマーカーは主催者が用意する。ただし、除去については使用したチームが必ず行うこと。

(3) フィールド競技について

- ① フィールド競技の競技場内での練習は、すべて競技役員員の指示に従うこと。投てき競技の練習は原則 2 回とするが、進行状況等により回数が増減がある場合もある。跳躍競技については、下記の表を確認すること。

走高跳	フリーで足合わせ、公式練習 2 回
棒高跳	試技順に足合わせ 1 回、公式練習 2 回、ゴムバーを使用する
走幅跳、三段跳	公式練習 2 回

- ② 跳躍、及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを 2 つ置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを 1 つだけサークルの外側に使用することができる。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。
- ③ 棒高跳の競技者は、あらかじめ所定の「アップライト申告書」(V-TIC)を提出すること。それをもって希望の支柱の位置を申告することになる。その後、位置の変更希望がある場合は、直接担当競技役員に申し出ること。
- ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子 13m、女子 10m の位置に設置する。
- ⑤ 跳躍競技において競技開始後は、天候風速によるピットの向きの変更は原則行わない。
- ⑥ フィールド競技における手拍子については TOP8 以降(走高跳・棒高跳においては上位 8 位程度)に限ること。

(4) 助力について

- ① 競技者に対する助力については、TR. 6 に準ずる。
- ② メインスタンド前ピットやバックスタンド前ピットで行われる跳躍競技において、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げなどにより競技エリア内に持ち込むことを禁止とする。
- ③ サイドスタンドでは、コーチ席内から録画再生機器等を選手に手渡してもよいが、確認後すぐにコーチ席内に戻すこと。
- ④ TR6. 3 の記載事項については助力とみなし許可しない。ただし、TR6. 4 の記載事項については助力と見なされず許可する。

(5) 競技関係書類の提出先は次のとおりとする。 * 医務員…エントランスホール常駐

	提出書類	提出先	提出時間
1	多種目同時出場届	V-TIC	第 1 種目の招集完了時刻 30 分前まで
2	欠場届	V-TIC	各種目の招集完了時刻 30 分前まで
3	アップライト申告書	V-TIC	各種目の招集完了時刻 30 分前まで
4	リレーオーダー用紙	TIC	各種目出場該当組の招集完了時刻の 1 時間前まで
5	リレーオーダー変更届	TIC	医務員*の署名後、招集完了時刻まで
6	抗議申し立て(口頭)	TIC	正式記録発表後(予・準) 15 分まで 正式記録発表後(決) 30 分まで
7	上訴申立書(文書) (預金 1 万円)	TIC	審判長公式裁定後(予・準) 15 分まで 審判長公式裁定後(決) 30 分まで
8	投てき用具検査申請書	V-TIC	競技開始 90 分前から 50 分前まで
9	記録証交付願	V-TIC	競技終了後随時(18 時まで)

8. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある。)

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
走高跳	男子	1m85、2m00	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	2m14	3cm
走高跳	女子	1m55、1m65	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	3cm
棒高跳	男子	4m30、4m70	4m40	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	10cm
棒高跳	女子	3m00、3m40、3m80	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	10cm

混成競技のバーの上げ方

種目	種別	練習	最初の高さ	バーの上げ方
走高跳	男子	1m45、1m70	1m50	1m80 までは 5cmきざみ 以降は 3cmきざみ
走高跳	女子	1m20、1m45	1m25	1m55 までは 5cmきざみ 以降は 3cmきざみ
棒高跳	男子	2m30、3m30、4m00	2m40	3m80 までは 20 cmきざみ 以降 10 cmきざみ

9. V-TICについて

- (1)「多種目同時出場届」「欠場届」「アップライト申告書」「投てき用具検査申請書」「記録証明書発行届」はV-TIC内の専用フォームから提出すること。
- (2)「投てき用具検査申請書」の控えについて、入力されたメールアドレスに控えが送信される。これは投てき用具返却の際に必要となる。
- (3)記録証明書は本人確認の上、発行手数料500円と引き換えにTICで手渡す。



10. 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものとす。ただし、競技場に備え付けられていない投てき用具(投てき用具一覧にないもの)、ならびに数が1つしかないものについては持ち込みを認める(※世界陸連認定品に限る)。その際、希望者は競技開始時刻の90分前から50分前(招集完了時刻)までに、招集所付近に設置するTICに持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」(V-TIC)を提出すること。投てき用具検査申請書の控えをTICに提示し、投てき用具を返却する。(「9. V-TICについて」を参照)

なお、検査に合格した投てき用具については一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。競技場備え付けの投てき用具については、「投てき用具一覧」を参照のこと。

11. 競技用靴について

競技場で使用できるスパイクピンの数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、やり投・走高跳の場合は12mm以内とする。また、スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するようにつくられていなければならない。

靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内とする。競歩種目は40mm以内とする。フィールド種目では三段跳を除く種目は20mm以内、三段跳は25mm以内とする。靴底の厚さについてはTR5.2を適用する。リストにないシューズについては招集所で確認をする。競技中および競技終了後に競技役員や審判長が疑義を抱いた場合は検査を実施し、規程違反の場合は失格となる。

12. 結果発表と抗議について

- (1) 競技結果については、場内スクリーンに表示し、アナウンスで発表するとともに、「滋賀陸上競技協会 Web ページ」に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに「OFFICIAL」表示され、アナウンスされた時点を正式発表とする。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内)に、競技者自身または代理人が、TICの担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」(TICに用意)に記入のうえ預託金1万円を添え、審判長裁定から上記同様の定められた時間内にTICに申し出ること。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員を通じて伝える。抗議が却下された場合、預託金は返金しない。

13. 種目別表彰について

- (1) 各種目1位~3位の入賞者は表彰を行う。
- (2) 入賞者は、競技終了者待機所から競技役員の誘導で入賞者待機所まで移動すること。
- (3) 入賞者待機所においても、携帯電話・電子機器・通信機能のある腕時計など類似機器の持ち込みおよび使用は原則認められない。

14. 一般連絡・注意事項

- (1) 衣類の広告に関する取り扱いは、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に従い、違反に対しては主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (2) 更衣室は、メインスタンド1階両サイドおよび雨天練習場内に男女別に設置する。更衣の際の荷物は各自で管理すること。万一の場合があっても主催者において責任は負わない。
- (3) 応援は競技運営に支障のないように行うこと。特にメインスタンド、各フィールド種目実施場所付近での集団応援は禁止する。
- (4) スタンドの手すりにもたれての応援や観戦はしないこと。また、通路に立っての応援や観戦もしないこと。
- (5) スタンド座席に物やテープ等を置いての場所取りは禁止する。
- (6) 競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (7) 競技者等の遺失物は、平和堂 HAT0 スタジアム正面入口前の受付において、9月1日(日)18時00分まで管理する。
- (8) 棒高跳のポールの保管場所については、TICで受付の後、第3ゲート横倉庫に置くことができる。
- (9) 競技者およびチームの監督には、ADカードを発行する。競技場内を移動する場合は、必ずADカードが確認できるように携帯すること。